

CONTENTS

- 02 桜川市決算報告
- 04 桜川市の健全化判断比率
- 06 第2弾新型コロナウイルス感染症緊急対策
- 07 まちの話
- 08 さくら川百貨選定商品をご紹介します
- 09 ヤマザクラ通信 vol.17
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 SAKU スポ vol.4 / 年長さんをご紹介します

表紙

桜川の秋



表紙は、市商工観光課で作成した、桜川市観光PRポスター「桜川の秋」です。
真壁の町並みと山からのぼる満月の様子が描かれています。
歴史ある建造物が立ち並ぶ場所、秋の夜長の落ち着いた風景を表現したものとなっています。

桜川市の人口と世帯

【人口】 38,949人 (- 72)
【男】 19,281人 (- 37)
【女】 19,668人 (- 35)
【世帯】 13,720世帯 (- 1)
()は対前月増減
常住人口
令和2年9月1日現在

令和元年度 桜川市決算報告

令和元年度の一般会計・特別会計および水道事業会計・病院事業会計の決算が令和2年第3回桜川市議会定例会で承認されましたので、その概要を一般家庭の家計に置き換えてお知らせします。また、本紙4・5ページでは健全化判断比率についてお知らせします。

■問合先/財政課 (☎ 58-5111・75-3111 代表)

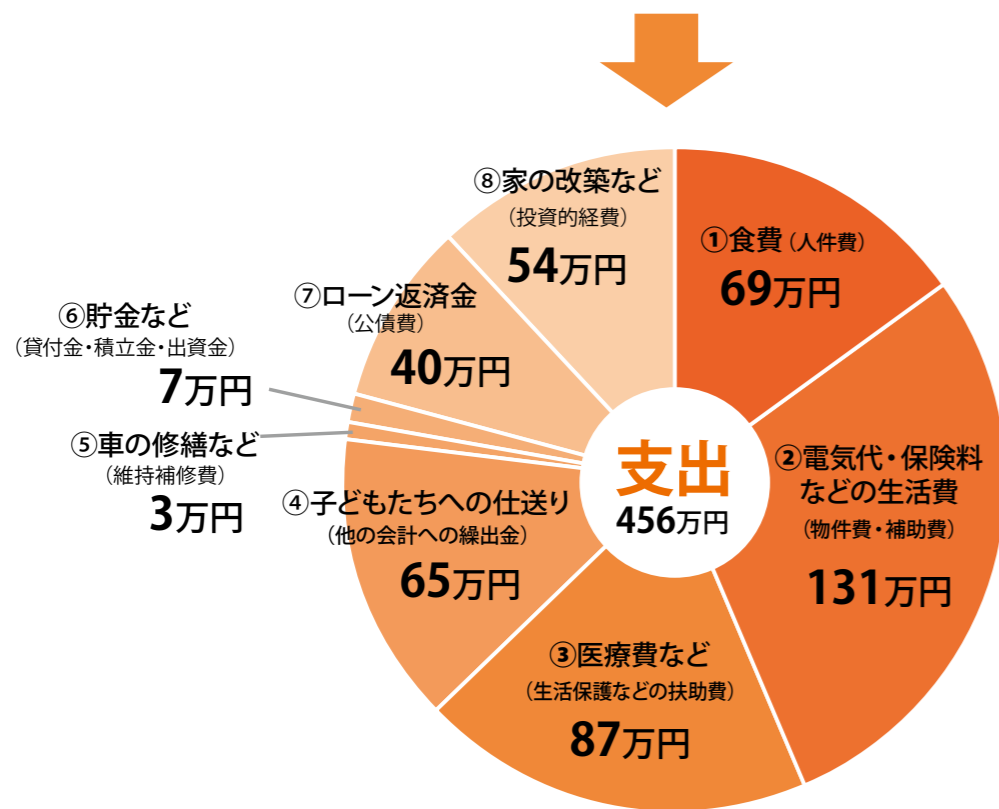
一般会計

令和元年度の一般会計における歳入(収入)は、187億3,486万9,465円で、歳出(支出)は、170億7,241万3,294円でした。

桜川市の会計は、一般会計と6つの特別会計のほか、水道事業会計と病院事業会計があります。
一般会計は、「一般的な行政に必要な経費」を扱う会計で、通常の行政事業の範囲で毎年必要となる経理であり、特別会計は、国民健康保険事業のように「特定の事業を行う」場合に設けられる経理です。
※なお、令和2年度からは、農業集落排水事業特別会計と公共下水道事業特別会計が統合して、事業会計に移したため、一般会計と4つの特別会計のほか水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計によって成り立っています。

内容	決算額
① 人件費	25 億 9,398 万円
② 物件費・補助金	48 億 9,362 万円
③ 生活保護などの扶助費	32 億 5,926 万円
④ 他の会計への繰出金	24 億 1,554 万円
⑤ 維持補修費	1 億 437 万円
⑥ 貸付金・積立金・出資金	2 億 6,861 万円
⑦ 公債費	14 億 9,746 万円
⑧ 投資的経費	20 億 3,957 万円
歳出合計	170 億 7,241 万円

歳出



※置き換えた内容は、分かりやすく説明するために、市財政課が独自に設定したものです。

【水道事業会計決算】

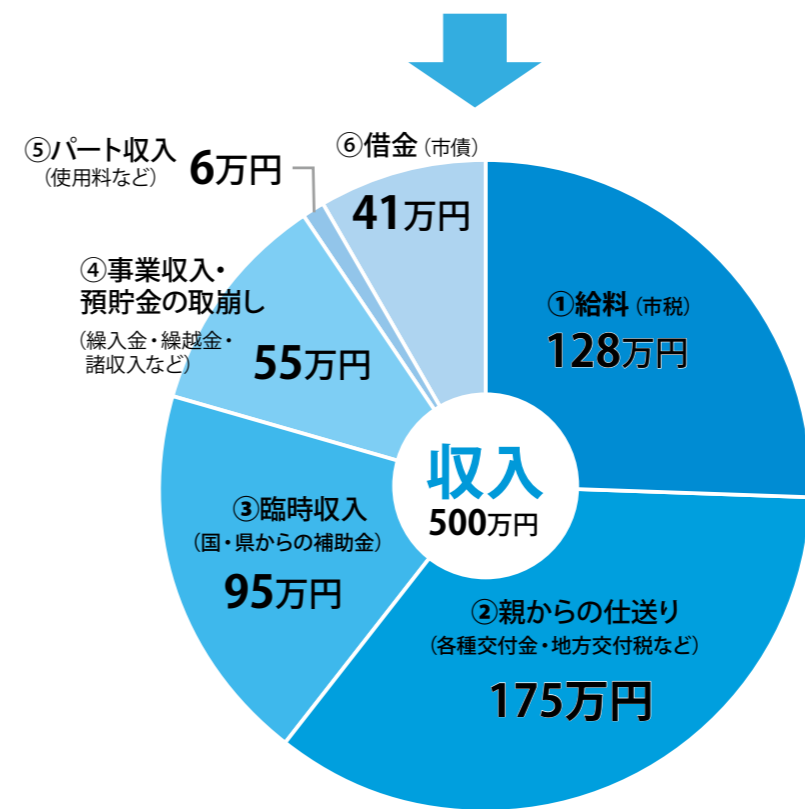
区分	歳入	歳出
収益的事業	9 億 863 万 3,584 円	9 億 7,880 万 1,413 円
資本的事業	6,267 万 853 円	2 億 5,375 万 7,473 円

【病院事業会計決算】

区分	歳入	歳出
収益的事業	5 億 2,494 万 4,208 円	5 億 3,127 万 829 円
資本的事業	7,313 万 2,934 円	7,741 万 9,201 円

内容	決算額
① 市税	47 億 8,475 万円
② 各種交付金・地方交付税など	65 億 3,774 万円
③ 国・県からの補助金	35 億 6,927 万円
④ 繰入金・繰越金・諸収入など	20 億 7,722 万円
⑤ 使用料など	2 億 1,911 万円
⑥ 市債	15 億 4,678 万円
—	—
—	—
歳入合計	187 億 3,487 万円

歳入



歳入合計を500万円とし、一般家庭の家計に置き換えてみると...

【歳入・歳出総額】

区分	歳入	歳出
一般会計	187 億 3,486 万 9,465 円	170 億 7,241 万 3,294 円
特別会計	51 億 921 万 7,068 円	50 億 359 万 5,119 円
国民健康保険	4 億 5,681 万 45 円	4 億 5 万 7,524 円
農業集落排水事業	6 億 7,544 万 8,356 円	6 億 2,574 万 2,549 円
公共下水道事業	43 億 1,637 万 8,762 円	40 億 5,506 万 3,280 円
介護保険	591 万 5,205 円	472 万 4,191 円
介護サービス事業	4 億 84 万 7,763 円	3 億 9,915 万 1,371 円
後期高齢者医療	296 億 9,948 万 6,664 円	275 億 6,074 万 7,328 円
総合計		